

NISA新年度総会の締めくくりとして、信州大学より2名の講師を招いて、第一部と第二部にわたり記念講演を開催しました。

## 第一部 強みの連携「信州大学ものづくり振興会」の活動状況報告

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 コーディネーター 一條 範好氏



第一部は、学術研究・産学官連携推進機構コーディネーターの一條範好氏が登壇し、「強みの連携」をキーワードに、信州大学の産学官連携体制の活用、AI×IoTを活用したビジネス戦略構築の重要性および「信州大学ものづくり振興会」の活動状況について、講演を行いました。

昨年4月の就任以来、県内約50社の企業を訪問して、経営層から経営課題のヒアリングをしたという一條氏。いずれの企業にも共通する課題として、「人材不足」と「新しいビジネス戦略」の二つがあるといい、これを解決していくために、IoT・AIの活用によって労働生産性を向上させること、自社の強みを分析してそれをブラッシュアップすることが必要であると述べました。

そのうえで、第四次産業革命といわれる昨今、イノベーションを創発していくためには、会社や業界という枠組を超えて、企業間・異業種間の連携、大学、行政、金融機関などが協働し、それぞれの“強み”を生かした産学官金の連携が求められているといいます。

一條氏は、民間企業で研究開発に従事していたときは「大学の研究シーズを十分に活用できていなかった」と振り返り、コーディネーターとして「大学の中に入ってみると、もっと早い時期から連携を行っていたら、新しい展開があったのではないかと述べ、「私たちコーディネーターを有効に使ってもらえれば」と聴衆に呼びかけました。

また「多様な研究シーズを持つ大学と、市場のニーズに対応し製品を開発する企業が、それぞれ強みとする専門分野で連携することによって、新しい価値を創造できるのではないかと」期待を寄せました。「強みの連携」が開く可能性に、一同も感ずるところがあったのではないのでしょうか。



## 第二部 「長野県から宙(そら)を目指す！」

信州大学工学部機械システム工学科 航空宇宙システム研究センター 准教授 中山 昇氏



第二部は工学部機械システム工学科・航空宇宙システム研究センターの中山昇准教授が登壇し、「長野県から宙(そら)を目指す！」と題して、信州大学工学部と諏訪6市町村が展開する、「提案型技術者」人材の育成を目的とした「SUWA小型ロケットプロジェクト」の取り組みと成果について、講演を行いました。

講演では、エンジン燃焼実験や打ち上げ時の貴重な記録映像を交えながら、プロジェクトで開発したハイブリッドロケットに関する説明のほか、設計開発から打ち上げまでの困難や秘話などが語られ、報道などでは知れない内容に、会場の聴衆は熱心に聞き入っていました。

講演の前段で中山氏は、中小企業が大部分を占める諏訪圏における社会人教育について言及し、有望な人材の多くが大手企業に就職するなか、限られた人材をいかに教育して企業と地域の活性化につなげていくかが重要、と述べました。そのような中で、SUWA小型ロケットプロジェクトの目的は、単にロケットの「ものづくりプロジェクト」ということにとどまらず、「こんな加工をしたらいいのではないかと」、「こんな材料を使ったらいいのではないかと」自ら考え提案する人材、すなわち「提案型技術者」の育成であると述べました。

プロジェクトは、開始2年目で、エンジンをはじめとした全ての部品を諏訪圏で製造することに成功し、高度1,000mを達成。今年3月の3号機打ち上げでは、高度3,500m以上に到達し、事前の成果目標

を大きく上回る「エクストラサクセス」を達成し、諏訪圏企業の技術力の高さを証明する結果となりました。

中山氏は、今後もプロジェクトは継続し、課題への挑戦を通じてさらなる人材育成と地域活性化につなげていきたいと展望を語り、「メンバーの方々も、まさか自分たちがロケットを作って打ち上げるとは考えもしなかったと思います。一歩を踏み出す勇気と、これまで培ってきた技術と知識がこの大成功につながった」と述べ、講演を締めくくりました。



※記念講演の資料はNISAホームページよりご覧ください。<http://www.nisa.or.jp>

### 本当に求めていた ITソリューションを。

# AID

私たちAIDの仕事はお客様が抱える問題点を整理し、真のニーズを見つけ出すところから始まります。AIDはお客様が本当に求めていたITソリューションをカタチにする会社です。

株式会社 **アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン**

本社 長野県松本市梓川橋3820-1 TEL.0263-78-8003

<https://www.a-i-d.co.jp/>

支社 東京事業本部・大阪支社・中国支社・九州支社